

令和6年度
劇場・音楽堂等機能強化推進事業
(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)
成果報告書

団体名	公益財団法人愛知県文化振興事業団
施設名	愛知県芸術劇場
内定額	28,566 (千円)

1. 基礎データ

(1) 開館日数・事業本数・貸館日数

項 目		令和5年度	令和6年度
開館日数		254	332
年間事業本数（※1）	主催事業	27	25
	公演事業	14	11
	（内、本助成対象事業本数）	13	8
	人材養成事業	5	4
	（内、本助成対象事業本数）	5	4
	普及啓発事業	8	10
	（内、本助成対象事業本数）	0	10
	その他 内容： 記入してください		
貸館日数	ホールごとの貸館日数	977	1,226
	ホール名：大ホール 座席数：2,480	182	182
	ホール名：コンサートホール 座席数：1,800	190	268
	ホール名：小ホール 座席数：標準282席（最大330席）	165	231
	ホール名：大リハーサル室 座席数：固定席無し	194	218
	ホール名：中リハーサル室 座席数：固定席無し	246	327

※1 事業の延べ実施回数ではなく、事業本数を記入してください。

(2) 施設利用者数・利用率

項 目		令和5年度	令和6年度
施設利用者数（※2）	主催事業入場者・参加者数	19,158	22,157
	公演事業	13,585	14,100
	人材養成事業	1,386	1,368
	普及啓発事業	4,187	6,689
	その他 内容： 記入してください		
	貸館事業入場者・参加者数	386,274	576,812
	その他 内容：		
	計	405,432	598,969
施設の利用率(%)		84.1%	85.0%

※2 実演芸術の公演等を鑑賞する者、ワークショップ等に参加する者、その他の劇場・音楽堂等の事業を利用する者の延べ人数を記入してください。劇場・音楽堂等のスタッフや、併設施設（美術館、図書館等）のみへの入場者数は除きます。

(3) 公演事業データ

事業種別		事業本数	公演回数	入場者・参加者数	入場者・参加者率	事業本数内訳						
						演劇	音楽	舞踊	伝統芸能	演芸	総合（※4）	その他
令和5年度	主催公演（※1）	13	36	14,002	60%	2	5	8	0	0	0	0
	共催・提携公演（※2）	2	22	7,756	70%	0	0	1	0	0	0	1
	貸館公演（※3）	337	514	383,674	※事業毎統計無し							337
	計	352	572	405,432								
令和6年度	主催公演（※1）	8	14	6,657	70%	2	2	4				
	共催・提携公演（※2）	3	12	7,443	67%	1	0	0	0	0	0	2
	貸館公演（※3）	667	829	584,869	※事業毎統計無し							667
	計	678	855	598,969								

※1 名義主催は除きます。
※2 名義共催を含みます。
※3 「貸館公演」における「入場者・参加者数」及び「入場者・参加者率」は概算で構いません。
※4 「総合」には、フェスティバル等における事業数を記入してください。

2. 公演事業の実績記録と自己評価

(1) 各公演事業における 評価項目「創造性・企画性」に関する評価指標・目標(値)

- ・ 令和6年度助成対象事業のうち公演事業について、助成対象事業ごとに自己評価を記入してください。

事業 番号	事業名	入場者数		入場 者率	評価指標	目標(値)	実績(値)	団体の自己評価	所見	備考
公-01	愛知県芸術劇場×Dance Base Yokohamaパフォーミングアーツ・セレク ション2024(小暮香帆×ハラサオリ『ポスト・ゴースト』)	目標 値	360	75.0%	公演内容の満足度	80%以上	100%	入場率は伸び悩んだが、作品の満足度は高く再演を期待する声もあり、創造性・企画性の観点では評価に値する公演となったといえる。 【批評】ダンス専門誌「danceart スペシャル」vol.8 「印象に残るシーンが満載だったが、ある焦点に絞り込んでいった先にみえるシンプルな表現にも興味がわく。再演の機会があればぜひ挑戦して欲しい」(亀田恵子)		
		実績 値	179	57.7%	批評やレビューの内容	-	右記のとおり			
公-02	チェルフィッチュ × 藤倉大 with アンサンブル・ノマド『リビングルームのメタモルフォーシス』(愛知公演)【劇場と子ども7万人プロジェクト】含む	目標 値	375	75.0%	公演内容の満足度	80%以上	93%	入場率は伸び悩んだが、公演満足度は高く、アンケートでも好意的な意見が多数寄せられた。一方、この作品についての批評・レビューは新聞評ほか掲載されたが、当劇場の他、東京・神戸でも上演されたため、当劇場公演のレビュー等の掲載数は目標を達成することができなかった。		
		実績 値	302	72.2%	批評やレビュー本数、専門誌掲載数	3本	1本			
公-03	【ミニセレ】第22回AAF戯曲賞受賞作公演『とりで』	目標 値	360	75.0%	公演内容の満足度	80%以上	89%	公演(ワークインプログレス)を無料公演としたため、有料入場者数は0人となった。本公演は当劇場主催の戯曲賞で大賞となった戯曲を舞台化するものだが、今回1つの戯曲を2人の演出家がそれぞれ舞台化して連続して上演した点で、非常に企画性・創造性が高い事業となった。 【専門家評価】Facebookより この澄井葵という人は、現在私が最も高く買っている演出家…この『とりで』ワーク・イン・プログレス公演を観て、確信はますます深まった。 澄井さんのお芝居は、他人に勧めるようなものではない…いっそのこと、観ない方が心穏やかでいられるんだらうけど、でも、わざわざザワザワ心を波立たせる方を選んでしまう。(大岡淳:演出家・劇作家・批評家)		
		実績 値	78	78.0%	専門家による評価	-	右記のとおり			
公-04	『ゴールドフィッシュ』～金魚と海とわたしたち～【劇場と子ども7万人プロジェクト】含む	目標 値	270	75.0%	公演内容の満足度	80%以上	100%	入場率、満足度とも目標を達成した。また本作品はメルボルンで開催された「ASIA TOPA」でも上演され、当該公演がTheAGE紙にて5つ星を獲得した。このことから、国際的に評される優れた作品の創作・上演ができたといえる。 【レビュー】「TheAGE」2025/2/27 (訳)楽しい驚きに満ちた「Goldfish」の物語は、身体演劇と独創的な人形劇を融合させた多面性を持つ。…3人の動きもまた、流動的で感情を揺さぶるもので、どんなに無関心な人でさえも引き込む没入感を生み出す。(Cher Tan)		
		実績 値	372	83.9%	批評やレビューの内容	-	右記のとおり			
公-05	NDT(ネザーランド・ダンス・シアター)プレミアム・ジャパン・ツアー2024愛知公演【劇場と子ども7万人プロジェクト】含む	目標 値	2,043	75.0%	公演内容の満足度	80%以上	99%	入場率、満足度ともに目標を大きく上回ることができた。専門家からの評価もよく、高い創造性・企画性をもった公演が実施できたといえる。 【批評】Webマガジン「シアターアーツ」2024/8/28 3作品は互いに全く似ておらず、いずれも振付家のシグネチャーが刻印された特異な語彙によって体現されている。共通項があるとすれば各々がその特異な方向性を追求し、洗練させていることで、その差異がスペクトラムを形成している。(竹田真理:ダンス批評家)		
		実績 値	2,558	93.0%	批評やレビューの内容	-	右記のとおり			
公-06	サーカス・シルクール『ニッティング・ピース』(愛知公演)【劇場と子ども7万人プロジェクト】含む	目標 値	977	71.7%	公演内容の満足度	80%以上	100%	入場率、満足度ともに目標を達成することができ、アンケートでも好意的な意見が多数寄せられた。 観客からは前向きな反応が多数あり、企画性のある事業が実施できたといえる。		
		実績 値	971	84.7%	券売数(有料入場者数)	947人	867人			
公-07	フランソワ・エスピナス オルガン・スペシャル コンサート(愛知公演)【劇場と子ども7万人プロジェクト】含む	目標 値	903	75.0%	公演内容の満足度	80%以上	96%	入場率、満足度ともに目標を達成することができた。批評家からの評価も高く、企画性のある公演事業であったといえる。 【批評】愛知芸術文化センター「AAC journal」vol.122 普段あまり耳にすることがない…フランスの作曲家たちの作品が澄んだ軽みのある美しい響きで紹介されたことは特筆に値する。また、メンデルスゾーンとバッハの作品でも、ドイツ風の重厚さとは一味違う清々しい演奏だった。(早川立大:音楽ジャーナリスト)		
		実績 値	1,177	75.4%						
公-08	オルガン・アワー～音のシャワーで心リフレッシュ～【劇場と子ども7万人プロジェクト】含む	目標 値	1,806	75.0%	公演内容の満足度	80%以上	100%	満足度は目標達成したものの、入場率は目標を下回る結果となった。批評家からは好意的な意見をいただいた。 【批評】愛知芸術文化センター「AAC journal」vol.122 大木の簡潔明快なトークとともに、小気味よく奏でられた。アンコールを含め、6曲中の4曲がドイツ系の作品だったが、リストの難曲「バッハの名による前奏曲とフーガ」は素晴らしい技巧が歯切れ良く、すっきりと仕上げられて出色だった。(早川立大:音楽ジャーナリスト)		
		実績 値	1,088	34.8%						

3. 自己評価

評価項目①:創造性・企画性

評価の観点
・(企画力)地域の状況と芸術性とのバランスが取れた、特色ある事業計画である。 ・(制作力)優れたアーティストやスタッフ等が才能や技能を発揮し、高い水準の作品制作や各種事業が行われている。 ・(発信力・影響力)圏域内外の実演芸術を牽引する成果が期待できる。 ・(レジデントカンパニー・アーティスト)当該劇場を創造拠点又は準拠点とする実演芸術団体やアーティストを擁する。 ・自由設定の観点(任意)

(1) 令和6年度の自己評価

- 評価補助シートで設定した評価指標と目標(値)、及び、その達成度に言及しながら、事業類型ごとに自己評価を記入してください。

	評価指標	目標(値)	実績(値)	団体の自己評価	所見	対応・追加情報など
公演事業	①公演事業に対する専門誌・専門家・批評家等による評価の年間掲載数(高評価) ②①での高評価の内容 ③当館で創作・プロデュースした作品の年間上演回数(再演含む) ④公演事業・劇場についての年間メディア掲載総数	①8件以上 ②- ③6公演以上 ④100件	①13件 ②「2. 公演事業の実績記録と自己評価」及び下記(2)のとお ③25公演(助成対象外含む) ④170件	いずれの指標においても目標を大きく上回ることができた。企画力・発信力・影響力の観点で優れた成果を残すことができたと考えている。		
人材養成事業	①受講者アンケートでの習熟度・達成度・理解度・役立度の平均値 ②養成事業受講者アンケートでのグッドプラクティスやエピソード	①80% ②-	①87% ②右記および下記(2)のとお	・指標を超え、また参加者の満足度も高く、アンケートでは以下のとおり好意的な意見をいただいた。 ・人-3アーティスト人材養成事業の『オルガニスト養成講座』では、受講者から2025年東京藝術大学オルガン専攻合格者を輩出した。この受講者は2025年の当劇場主催オルガン公演において、アシスタントとして出演予定である。		
普及啓発事業	①普及啓発事業の公演事業鑑賞者アンケートでの公演満足度の平均値 ②普及啓発事業の鑑賞者・参加者アンケートでのグッドプラクティスやエピソード ③7万人プロジェクト・当劇場オリジナル事業「終わらない夜」に対する専門家の評価	①80% ②- ③-	①100% ②下記(2)のとお ③右記のとお	①の指標においては目標を大きく上回った。②については下記(2)のとお好意的な意見をいただいた他、アンケートにおける満足度も高く、企画性のあるプログラムを実施できたと自負している。 ③について、専門家(元愛知県芸術劇場プロデューサー)からは演出面における改善事項をいくつか挙げられたものの、「1回目の公演よりも2回目の方が、熟れてきた印象を受けました。きっと来年度は、もっと良い作品になると確信しています。」と前向きな意見をいただいた。絵本とともに当劇場があらたに制作した企画性・創造性のある事業であり、さらに改良していく。		

(2) 「創造性・企画性」が向上したことを示すエピソードやグッドプラクティス事例を記入してください。

・公-5 『NDT』は当劇場含め国内3劇場で、計5つの作品を上演するというプログラムで、各劇場異なる3作品を上演した。結果、ダンスファンからの高い注目を集め、全国から当劇場にも多くの鑑賞者が来場した。また多数の好意的なレビュー・批評をいただくことができた。 批評(Chacottoウェブマガジン.):『ワンフラットシングリプロデュースド』が上演された…刈谷円香と福士宙夢の日本出身の2人のダンサーもダイナミックな演技を見せていた。四半世紀を経てもなお、新鮮な魅力を感じる名作だ。(香月圭:チャコット DANCE CUBE Web Magazineライター) ・公-7.8の2つのオルガンコンサートについて、専門家から以下のとおり評価があった。 「オルガン大国の双璧ともいえるフランスとドイツの作品をそれぞれ中心とした2つのプログラムにより、オルガン音楽の真価をベテランと中堅の名手の素晴らしい演奏で短期間のうちに聴けたのはうれしい。オルガン設置者の強みが発揮された良い企画だった。」(早川立大:音楽ジャーナリスト) ・公-2 『リビングルームのメタモルフォーシス』について以下のとおり専門家の評価をいただいた。 (AAC journalVol.124)俳優たちは台詞を語りながら、その意味を必ずしも補完しないぎくしゃくした身ぶりを上演しながら、また、演奏家たちは楽譜に書き込まれたパッセージを演奏しながら、それぞれが、つまりは俳優と演奏家のひとりひとりが、互いの呼吸をはかりつつ、上演時間の瞬間瞬間の(いま、ここ)で、物語的意味と身体的・聴覚的感覚を敏感に生起させていく。あるいは、偶発的に生起させてしまう。本作はこうして、前例のない演劇と音楽のスリリングな出会いの体験を観客に与えるのである。(内野 儀:学習院女子大学教授) ・公-6『ニッティングピース』は国内5館で実施するツアー公演であったが、実績のある他劇場と事前のオンラインミーティングでお互いの制作ノウハウを交換することで、企画実現に向けた予算立案、波及効果のある広報計画などの能力を向上させることができた。また、地域に根差した活動や幅広い世代へのアプローチを得意とする他劇場と、ワークショップの様子を共有したり、他劇場の公演に視察へ行くことで、双方の今後の企画立案能力の向上につながった。 ・人-2 ダンサー養成事業のアンケートでは「自分への課題が浮彫になった」「レベルが高くて苦しい部分もありましたが、講師のレクチャーが心地よく充実した時間だった」「素晴らしい劇場にプロのスタッフさんのお力添え頂いて立たせてもらったこと、感謝しています」等意見をいただいた。 ・人-3 アーティスト人材養成『オルガニスト養成講座』では、上半期から下半期、下半期から2025上半期講座へ、参加者の半数以上が継続受講している。これは、事業内容が評価されていることの証左であるといえる。また、受講生が演奏する試演会には多くのオルガンファンが来場するが、内容満足度は90%を超え、受講生の育成結果が十分に発揮されているといえる。 ・人-4 舞台芸術人材養成ラボで実施した『舞台芸術インターン』では、募集時に参加者のニーズとのミスマッチを防ぐため、zoomの面談や申込書面での審査を丁寧に実施し結果、参加者全員が最後まで参加することができた。内容についても、参加者の8割が「想定以上だった」、残りの2割が「想定程度だった」と答えたことから、かなり充実した内容となったといえる。 ・普-7 ぐるっとアートで実施した『0AR』はARを使ったiPadで楽しむ体験型公演であった。参加者からは『没入感があり、あっという間に時間が過ぎました。面白かったです。』『初めての体験でした。タブレットとヘッドフォンだけど、異世界に入り込んだような不思議な体験ができ、とても楽しかったです。』等、過去体験したことのない新たな芸術体験として好意的な反応を多数いただいた。
--

評価項目②:国際性(任意)

評価の観点
・(国際プレゼンスの向上)海外の劇場やフェスティバル、実演芸術団体等と連携し、国際共同制作や海外作品の招聘等に取り組んでいる。 ・(国際交流)アーティストや文化芸術関係者の招聘等、人的交流や情報交換が行われている。 ・(新たな創客への取組)在住外国人や訪日外国人に向けて文化芸術体験の機会を提供する等、グローバルな視座で創客に取り組んでいる。 ・自由設定の観点(任意)

(1) 令和6年度の自己評価

- 評価補助シートで設定した評価指標と目標(値)、及び、その達成度に言及しながら自己評価を記入してください。

評価指標	目標(値)	実績(値)	団体の自己評価	所見	対応・追加情報など
①当館で創作・プロデュースした作品の海外での年間上演回数(再演含む) ②国際ネットワーク会議・見本市等への出席人日数 ③国外に拠点を置くアーティスト等を招聘しての人材養成事業の実施回数及びその事業の延べ受講者数	①4公演以上 ②年3人日以上 ③3回以上及び20人以上	①14公演(ゴールドフィッシュ) ②16人日 ③5回、85人	いずれの指標も目標を大きく上回ることができた。		

(2) 「国際性」が向上したことを示すエピソードやグッドプラクティス事例を記入してください。

・公-4 『ゴールドフィッシュ』は、愛知県芸術劇場とオーストラリアの人形劇団Terrapin Puppet Theaterによる国際共同制作作品であり、タスマニアと愛知において滞在制作を行った。作曲・照明デザインはオーストラリアのアーティストが、舞台美術・衣装は日本人アーティストが、演出・俳優は両国のアーティストが担った。制作および技術の両面でオンラインを含めたミーティングを重ね、オーストラリアと日本のアーティスト、クリエイティブスタッフがそれぞれの専門性を活かしながら国際的な協働を実現することができた。 ・普-5 多文化共生・インクルーシブプログラムにおいて、『ゴールドフィッシュ』演出家トム・ウッドによる聾学校でのアウトリーチを実施した。アウトリーチでは身近なものを使ったワークショップを行った。参加した子どもからは「新しい表現方法を学ぶことができた」など前向きな意見が寄せられた。ワークショップの様子は中日新聞(2025.2.6朝刊(岐阜近郊版))、岐阜新聞(2025.2.6朝刊)にて大きく報じられた。 ・普-5 多文化共生・インクルーシブプログラムにおいて、豊田市のブラジル人学校でダンスワークショップを実施した。ワークショップ内容は、1日目に日本の昔話をモチーフにしたダンスを創作し、2日目には家族を招いて創作したダンスを発表するというもので、発表者の子供だけでなくその家族も楽しめる内容となった。ダンスを通じて異文化理解を深める機会となった。 ・普-6 『ニッティングピース』公演関連の普及啓発事業として、出演者を講師として、身体を使ったワークショップと編み物ワークショップを実施した。参加者からは、「公演のコンセプトを知ることができ、アーティストさんとの交流もあり、舞台がとても楽しみになりました。娘と一緒に参加できて、楽しいひとときでした」という声をいただいた。作品創造への興味を促せたことはもちろん、外国人と県民の方との交流を深める機会となった。

評価項目③:地域文化拠点機能

評価の観点
・(文化拠点)地域の特性やニーズを踏まえ、地域の文化資源を活用するなど、地域の文化拠点として事業が組み立てられている。 ・(地域連携)地域の関係機関と連携・協力し、地域コミュニティの創生や社会課題の解決等に取り組んでいる。 ・(児童生徒への機会提供)次代を担う子ども達を対象とした鑑賞や体験事業が行われている。 ・ホール利用サービス(貸館事業)の向上 ※ ・自由設定の観点(任意)

※ ホール利用サービス(貸館事業)を行っていない場合は不要

(1) 令和6年度の自己評価

- 評価補助シートで設定した評価指標と目標(値)、及び、その達成度に言及しながら自己評価を記入してください。

評価指標	目標(値)	実績(値)	団体の自己評定	所見	対応・追加情報など
①劇場の平均利用率	80%以上を維持する	84.20%	・8個の指標のうち6つの指標において目標を上回った。 ・貸館における利用者満足度・利用率はいずれも高く、優れたサービスを提供することができているといえる。 ・③については目標を下回ったものの、舞踊、オルガンコンサート、演劇等、様々なジャンルの事業において招待公演を実施することで、圏域の子ども達に多種多様な公演の鑑賞機会を提供することができたといえる。		
②利用者満足度調査	5以上(6段階評価)を維持する	5.2			
③7万人プロジェクト参加者数	2万人以上	19,799			
④ファミリープログラム新規来場者率	30%以上を維持する	40%			
⑤自主事業における県内市町村との連携事業数	3事業以上	4事業			
⑥久屋ぐるととアートの参加団体数	20団体以上	21団体			
⑦舞台芸術人材養成事業への参加者	1,000人以上を維持する	936人			
⑧職員の派遣	自治体や他団体等にて文化振興プランの策定や劇場運営等の助言を行う職員20人日以上	69人日			

(2) 「地域文化拠点機能」が向上したことを示すエピソードやグッドプラクティス事例を記入してください。

・普-3 『オルガンNIGHT & DAY』では、愛知県出身、愛知県在住の音楽家を出演者に迎えたことで、地域アーティストが活躍する機会を増やすとともに、子どもを中心とした多くの新規来場者にアーティストを紹介することができた。地域の文化拠点として、県の文化振興に寄与することができた。

・普-6 『ニッティングピース』関連事業として、多角的な角度から劇場での公演に関心を持ってもらおうと、身体を使ったワークショップに加えて編み物のワークショップも実施した。参加者からは、「公演のコンセプトを知ることができ、アーティストさんとの交流もあり、舞台がとても楽しみになりました。娘と一緒に参加できて、楽しいひとときでした」「サーカスを見る前のワークショップとしてはよかったと思います」「何かを作るのは満たされた気持ちになります。参加前と後では気持ちが全然ちがいます」など、今までにはなかった反応があった。ワークショップにより、より幅広い方々に作品創造への興味を促せたことはもちろん、県民の方との交流を深められた。

・人-2 ダンサー養成事業のアンケートでは、「愛知県でコンテンポラリーダンスを踊ることや習う機会がとても少なく、関東に受けに言っていたので地元で受けられることがとても有難く嬉しい」という意見をいただいた。参加者の多くは愛知県内に居住しており、ダンサーを目指す地域の人材に貴重な機会を提供できた。

・愛知県は全国的にみても外国人が多く、外国人との協働は喫緊の課題である。普-5 多文化共生・インクルーシブプログラムにおいて実施した豊田市のブラジル人学校でのダンスワークショップは、日本の昔話をモチーフにしたダンスを創作・発表するというもので、異文化理解を深めるには効果的な取り組みだった。愛知県多文化共生室や、豊田市生涯活躍部国際まちづくり推進課、同市の文化部文化事業課など、自治体からの見学者も多く、地域の社会課題解決という観点で意義のある事業だった。

・普-9 『ベック』では、県内8館でツアーを行なった。当劇場が制作・運営面で中心となり、各館をサポートすることで、単独で海外カンパニーの招聘公演が難しい劇場でも、円滑に海外公演を実施することができた。

評価項目④:多様性とアクセシビリティ

評価の観点
・(プログラムの多様さ)プログラムの種類や形態が多様で、幅広い観客や参加者に訴求する。 ・(参画者の多様さ)アーティストやスタッフとして参画する人々の属性(性別、年代、居住地、他)が多様である。 ・(アクセシビリティ)障がいの有無や年齢、性差、国籍、居住地、経済的状況等に関わらず、あらゆる人々と実演芸術をつなぐため、施設の構造・設備上の配慮、プログラム上の創意工夫やサポート、アウトリーチ等が行われている。 ・自由設定の観点(任意)

(1) 令和6年度の自己評価

- 評価補助シートで設定した評価指標と目標(値)、及び、その達成度に言及しながら自己評価を記入してください。

評価指標	目標(値)	実績(値)	団体の自己評価	所見	対応・追加情報など
① 鑑賞サポート(託児サービス、ヒアリンググループ、字幕タブレット、点字プログラム、リラックスパフォーマンス、舞台手話通訳など)の実施事業数	5事業以上	6事業	3つの目標のうち、2つの目標は達成することができた。		
②日本人と外国人との交流機会の提供	3事業以上	7事業			
③自主事業のU25(25歳以下)のチケット購入枚数	1,000枚以上	896			

(2) 「多様性とアクセシビリティ」が向上したことを示すエピソードやグッドプラクティス事例を記入してください。

・普-2 『オープンハウス』では、難聴者向けにUDトークを実施した。難聴者の漫画家usasa氏を招待し、自らの体験を漫画化していただき、自社媒体AACタイムズに掲載した。 ・普-5の多文化共生・インクルーシブプログラムにおいて、『ゴールドフィッシュ』演出家トム・ウッドによる聾学校でのアウトリーチを実施した。アウトリーチでは身近なものを使ったワークショップを実施した。参加した子どもからは「新しい表現方法を学ぶことができた」など前向きな意見が寄せられた。ワークショップの様子は中日新聞(2025.2.6朝刊(岐阜近郊版))、岐阜新聞(2025.2.6朝刊)にて大々的に報じられた。 ・公-4 『ゴールドフィッシュ』では、愛知県芸術劇場として初めて演劇作品にろう俳優による舞台手話通訳を付けた公演を行うことができ、県内の聾学校の児童生徒を招待した。また大人の聴覚障がい者の方も多く来場され、アンケートでは舞台手話通訳について評価の高い意見が多かった。 (アンケートより)「最近になって増えつつある舞台手話通訳ですが、表情もよく、とても伝わりました」「演者と手話通訳さんの掛け合いも楽しくて、手話通訳が置いてけぼりにされなかったから、劇も楽しめたし、手話でも楽しめました！手話通訳と聞いて、私の中では、花道で手話通訳をするだけだと思っていたのに、演者と一緒に通訳してくれるのは、とても素敵な事だと思います。」 ・普-3 『THEオルガンNIGHT&DAY』で実施した字幕タブレット対応について、聴覚障害の方からかなり良い反応をいただいた。 (アンケートより)「耳が聞こえないのでこのようなコンサートに来ることは初めてでした。鑑賞サポートがあることを知り緊張しながら参加しましたが、とても丁寧に対応していただき安心しました。また、お借りした字幕タブレットはリアルタイムで表示されていたので聞こえるみなさんと同じように楽しめたような気がしています。パイプオルガンの音の振動が伝わりとても感動しました！鑑賞サポートがつく公演がありましたらまた観に来させていただきます。」 「通常、ホール内ではスマホなどの電源OFFがマナーになっているにもかかわらず、このようなサポートにご理解をくださりタブレット字幕によるご配慮をしていただけることは聴覚障害のある人にとっては非常に有り難く、ぜひ今後もこのようなサポート付きのコンサートを継続して頂けることを楽しみにしております。」 普-9 『ベック』のアンケートでは、「公演を見て、その時の感情を言葉にして反応できる事は子供と一緒に楽しめて良かったです。」 「普段じっとしていられない2歳半の子どもが落ち着いて座っていられました。スタッフの方にもとても親切にいただけました。」 「リラックス公演は子どもが大きな声を出しても大丈夫なので、安心して親も楽しむことができました。」など意見をいただき、リラックス公演の需要を感じられた。
--

評価項目⑤: 自由設定(任意)

①創造性・企画性、②国際性、③地域文化拠点機能、④多様性とアクセシビリティ、⑥運営体制と持続可能性 の項目では成果や課題に言及しきれない事柄について、自己評価を行ってください。

評価の観点

- (1) 令和6年度の自己評価
- 評価補助シートで設定した評価指標と目標(値)、及び、その達成度に言及しながら自己評価を記入してください。

評価指標	目標(値)	実績(値)	団体の自己評価	所見	対応・追加情報など

評価項目⑥:運営体制と持続可能性

評価の観点		現状	目標(値)	実績(値)	団体の自己評価	所見	対応・追加情報など
「実現性」の評価項目より							
(ア)	(多様な財源の確保)予算計画が妥当であり、事業収入のほか、各種助成金や寄附金・協賛金等の獲得に努めている。	助成金7種類、計46,069,400円 賛助会員のべ32会員・34口(2,600千円) ミュージアムショップ収益事業からの繰り入れ	賛助会員口数 30口以上 収益事業(ミュージアムショップ運営)からの繰入金 100万円以上	賛助会員口数 50口 収益事業(ミュージアムショップ運営)からの繰入金266万円以上	目標を達成し、改善されたといえる。 今後も更に拡大していきたい。		
(イ)	(広報・営業力)広報計画が充実しており、券売や集客、会員制度等の拡充に努めている。	広報グループ(6名)を設置し、年間計画を立案の上、隔週で広報会議を実施 個人会員制度23,502名	個人会員の伸び数 年2,000人以上	2,079人 (会員数23,502名)	目標を達成し、改善されたといえる。 今後も更に拡大していきたい。		
(ウ)	(他館連携)他の劇場・音楽堂等との事業連携や協力・支援を通じて、効果的で効率的な事業運営を行っている。	国内の連携団体数36、県内市町村との連携団体数23 各種ネットワークへの参加4団体(全公文、愛公文、劇音協、公技連) ホール職員向けの研修2事業(劇場職員セミナー、愛公文セミナー)	他団体との連携事業数10以上	14事業	目標を達成し、改善されたといえる。 今後も更に拡大していきたい。		
(エ)	(設置者)円滑な事業の継続のため設置者と適切に意思疎通を図っており、設置者による人材や財源の確保等が期待できる。	県からの派遣職員11名が事業団に在籍、県OBの役員2名 県との調整会議を月1回開催	改善不要	-	-		
「持続可能性に関するチェックシート」より							
(オ)	(芸術監督)芸術監督等、劇場運営の芸術面を統括する人材が配置されている。	芸術監督1名と支配人1名を配置	改善不要	-	-		
(カ)	(長期的経営)長期的視点に立ち、劇場運営を統括する、経営実務者が配置されている。	理事に専門性の高い有識者を配置(市事業団理事長、文化政策研究者、大学経営者、コンサル等)	改善不要	-	-		
(キ)	(専門人材の確保)今日的な劇場運営に必要な職能や専門性を踏まえ、運営体制が整備されている。あるいは専門人材の確保や育成に努めている。	①劇場運営、②舞台技術、③企画制作、④広報、⑤経理・施設、⑥総務の6つのグループを運営。①Off-JTに積極的で、23年度は259人日が参加	改善不要	-	-		
(ク)	(職制の整理)芸術監督、館長、支配人、プロデューサー、その他管理職の職位及び職能、一般職員の職務内容等が専門性を基に整理され、役割分担されている。	職位及び職能については、その立場で必要とされる専門性等を踏まえ、組織規程により整理されている。加えて(キ)①～⑥のグループ毎に、専門性や実績を踏まえ、各G役割分担表を作成している。	改善不要	-	-		
(ケ)	(世代間バランス)年齢バランスを考慮した人材確保を行っている(若年層の雇用に努めている)。	2024.4.1現在の年代構成 20代:7人 30代:5人 40代:15人 50代:13人 60代:3人(+常勤役員2人) ※スタッフ(短)は含む、アルバイトは除く ※4/1時点で欠員の方は除く	改善不要	-	-		
(コ)	(ジェンダーバランス)女性管理職比率が30%以上である。あるいは、女性の管理職やリーダー職への登用に努めている。	女性管理職比率:28.6% 女性管理職の登用に努めているものの、施設設置者の意向も踏まえた人事なのでコントロールが難しい	改善不要	-	-		
(サ)	(ワークライフ・バランス)仕事と育児・介護等の両立支援制度を整備し、推進している。	育児休暇・介護休暇のいずれも整備しており、職員に推進している。 2023年度の育児休暇・介護休暇の取得日数実績は以下のとおり。 育児休暇:実績なし 介護休暇:2か月3日	改善不要	-	-		
(シ)	(コンプライアンス順守)情報セキュリティをはじめ、各種コンプライアンスの順守規定を策定し、必要な研修を行っている。	各種コンプライアンスの規定は、設置者である愛知県の規定に準拠し策定している。 また、社員研修を年2回実施している。	改善不要	-	-		
(ス)	(ハラスメント防止対策)職場内及び創作現場におけるパワー・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメント等防止のための指針等を策定・周知し、必要な研修を行っている。	社員向けの研修の他、県内外のホール職員向けの研修を実施。一部の創作現場で指針をスタッフ全員で共有する試みを始めた。	改善不要	-	-		
(セ)	(適正な契約事務)アーティストやスタッフと適正な契約書を交わしている。	大規模な公演では契約書・請書を交わす他、小規模な講演でも依頼文を出すなどしている。	改善不要	-	-		

4. 総評

・ 団体の自己評価

・各公演の「創造性・企画性」に関する評価指標・目標(値)で、公演内容の満足度、及び批評やレビューの内容については、概ね目標を上回ることができた。どの公演も、観客及び専門家の両方から高評価を得られ、質の高い公演内容だったと考える。

・人材養成事業、普及啓発事業のいずれの事業でも、地域のニーズや状況に応じた特色のある事業が展開できた。公演事業を含めて、多くの事業で多数のグッドプラクティスを得ることができた。

・国際性、地域文化拠点機能、多様性とアクセシビリティ、運営体制と持続可能性についても、バランスよく実施できており、この助成金によって地域の中核劇場として大きな役割を果たすことができた。

・普及啓発事業で、小中高校生を公演鑑賞に招待する「劇場と子ども7万人プロジェクト」のオリジナル事業として新しく制作した、絵本×朗読×パイプオルガン「終わらない夜」公演は、専門家から、今回の初演をさらに発展・改良していくことができると評された。R7年度も引き続き学校単位での招待公演として実施する予定で、現在参加校を追加募集中である。専門家からの期待に応え、鑑賞する子どもたちのためにさらに質の高い公演にしなければならないと考えている。

・一方で、入場者数／有料入場者数の実績値が目標数を上回ることができた公演は、8公演中3公演だった。地域の状況に合わせて客席の作り方や実施公演回数を計画段階から一部変更したため、入場者率・有料入場者率は入場者数／有料入場者数と同様に実績値が目標値を上回った/届かなかった場合と、その逆になった公演が生じた。公立劇場の公演事業としては、質の高い公演を一人でも多くの方に鑑賞・体験していただけることが重要であり、入場率より入場実数を重視すべきではないかと考える。各公演のチケット価格は適切に設定していると考えており、今後も広報に一層力を注いでいく。

【助成対象外事業】

・当劇場プロデュース公演「瀕死の白鳥/その死の真相」(本助成対象外(文化庁舞台芸術総合支援事業(国際交流)対象)のニューヨーク、サンフランシスコ公演を実施した。(計4公演)どの会場も満員に近い入場率で、創る劇場としての国際的プレゼンス向上に大きく寄与したと考える。

・文化芸術活動基盤強化基金(クリエイター等育成・文化施設高付加価値化支援事業)に採択された。本助成をうけ「Constellation～世界をつなげる愛知県芸術劇場ダンスプロジェクト～」を開始した。このプロジェクトでは優れたダンス作品を創造することで、舞踊家(ダンサー・振付家)を中心にダンス作品の創作に関わる人材を育成し、ダンス作品の創作や海外ツアーの土壌を整え、最終的には当劇場が日本のダンス作品のハブ劇場となり国際的なプレゼンスの向上を目指す。

R6年度は育成対象者として、アーティスト5名、クリエイティブスタッフ8名を選定した。「愛知県芸術劇場ダンスアーティスト」と位置づけられた5名が創作・発表を開始し、2名のダンスアーティストがそれぞれ新作を創作・初演した。また、育成者を対象とした作品創作の基礎知識となるプロデュース・マネージメント講座、海外ネットワーク強化・見本市等へ参加を行った。

・地域の芸術大学や全国的に活動を行っている芸術団体と連携し、スターダンサーズバレエ団リラックス・パフォーマンス「白鳥の湖」&「くるみ割り人形」公演など、幅広い鑑賞者に対して良質な公演を行った。

・全国公立文化施設協会東海北陸支部及び愛知県公立文化施設協議会の事務局となり、地域の公立文化施設職員の知識・技術向上や情報共有を図るため、実務研修等を開催した。こうした人材養成の取り組みを足がかりに、愛知県内の劇場の強いネットワークを活かし、連携公演の実施や人材養成セミナーの開催など、様々な形で劇場間の連携をさらに深めることができた。

＜愛知県公立文化施設協議会＞

4/25(木) 役員会、総会、総会セミナー(セミナー参加者:26館38名)

6/18(火) 愛公文セミナーⅠ(参加者:24館33名)

7/23(火) 愛公文セミナーⅡ(参加者:24館30名)

8/27(火) 愛公文セミナーⅢ(参加者:22館32名)

・ 所見

